



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 田中精密工業株式会社
 コード番号 7218 URL <http://www.tanasei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 田中 英一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 沖 健司 TEL 076-469-9107
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	7,068	2.3	△33	—	△23	—	△211	—
2022年3月期第1四半期	6,907	55.4	440	—	518	—	365	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,309百万円 (294.0%) 2022年3月期第1四半期 332百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△21.71	—
2022年3月期第1四半期	37.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	36,866	23,457	46.8	1,768.66
2022年3月期	36,842	22,722	44.8	1,690.72

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 17,263百万円 2022年3月期 16,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	11.2	1,400	7.9	1,400	8.4	700	87.3	71.71

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期1Q	9,763,600株	2022年3月期	9,763,600株
2023年3月期1Q	2,855株	2022年3月期	2,855株
2023年3月期1Q	9,760,745株	2022年3月期1Q	9,760,745株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料のP.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化するなか、社会経済活動の正常化に向けた動きが見られるものの、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う資源価格の高騰、中国上海におけるロックダウン等、先行き不透明な状況が依然続いております。その影響から、取引先である自動車業界は、半導体不足等によるサプライチェーンの混乱からの顧客における生産調整により、全世界の販売台数は前期までの回復には至りませんでした。

このような環境の中、売上高につきましては、サプライチェーンの混乱からの顧客における生産調整による減収はありましたものの、モビリティ事業の拡大及び為替換算効果により、7,068百万円（前年同四半期比2.3%増）となりました。損益につきましては、構造改革実施等に伴う固定費削減はありましたものの、大幅な減産影響により、営業損失33百万円（前年同四半期は営業利益440百万円）、経常損失23百万円（前年同四半期は経常利益518百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失211百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益365百万円）となりました。

なお、これまでの機能別の本部制から事業部制へと組織体制を変更したことに伴い、当第1四半期連結累計期間より、自動車部品製造事業を担う「部品製造事業部」、自動車販売事業である「モビリティ事業部」、事業化の加速と新たな価値創造を担う「ソリューション事業部」の3事業部の区分における報告セグメントに変更を行いました。それに伴い当期並びに前年同期の実績値を変更後のセグメント区分に組み替えて表記しております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 部品製造事業

売上高につきましては、電動化領域におけるアルミ部品等の新規立上り部品がありましたものの、サプライチェーンの混乱からの顧客における生産調整等により5,638百万円（前年同四半期比2.2%減）となり、損益につきましては、構造改革実施等に伴う固定費削減はありましたものの、大幅な減産影響により6百万円のセグメント損失（前年同四半期はセグメント利益401百万円）となりました。

② モビリティ事業

売上高につきましては、半導体不足等によるメーカーからの納車遅れはありましたものの、店舗増加及び好調な二輪販売の事業拡大により1,269百万円（前年同四半期比11.2%増）となり、損益につきましては、吸収合併に伴う一時的な固定費の増加により7百万円のセグメント利益（前年同四半期比81.5%減）となりました。

③ ソリューション事業

当事業部では、FA（ファクトリーオートメーション）設備の開発を推進し、モノづくり現場での問題解決に貢献するFA設備・ソフトウェア事業及び当社独自の接着剤技術を接着積層モーターコアの製造技術や、その他のモーター部品製造技術へ転用し、モーターの高効率化に貢献するモーター部品製造技術事業を戦略事業として、開発及び営業販売活動を推進しております。売上高につきましては、FA関連設備の販売により160百万円（前年同四半期はセグメント売上高2百万円）となり、損益につきましては、65百万円のセグメント損失（前年同四半期はセグメント利益2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ24百万円増加し、36,866百万円となりました。負債の部では、有利子負債の減少等により、710百万円減少し、13,408百万円となりました。なお、純資産の部では、為替換算調整勘定の増加等により、734百万円増加し、23,457百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、2022年5月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,821,027	6,062,210
受取手形及び売掛金	3,528,591	3,177,195
商品及び製品	1,650,429	1,700,542
仕掛品	1,339,540	1,266,667
原材料及び貯蔵品	3,098,486	3,746,666
その他	307,319	389,628
流動資産合計	16,745,395	16,342,910
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,251,987	6,720,911
機械装置及び運搬具(純額)	7,186,702	7,024,873
土地	2,375,611	2,722,525
その他(純額)	841,603	960,624
有形固定資産合計	16,655,905	17,428,935
無形固定資産		
のれん	—	122,986
その他	195,188	189,753
無形固定資産合計	195,188	312,739
投資その他の資産		
投資有価証券	2,796,737	2,202,047
その他	448,975	579,598
投資その他の資産合計	3,245,713	2,781,645
固定資産合計	20,096,807	20,523,320
資産合計	36,842,203	36,866,231

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,637,411	1,616,889
電子記録債務	472,345	387,248
短期借入金	2,720,000	2,640,000
1年内返済予定の長期借入金	1,626,948	1,706,571
未払法人税等	194,328	153,324
その他	3,088,370	2,847,888
流動負債合計	9,739,403	9,351,922
固定負債		
長期借入金	3,308,332	2,992,590
退職給付に係る負債	137,735	147,238
資産除去債務	94,549	96,948
その他	839,206	819,945
固定負債合計	4,379,824	4,056,722
負債合計	14,119,227	13,408,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,190	500,190
資本剰余金	324,233	324,233
利益剰余金	13,121,076	12,879,843
自己株式	△2,668	△2,668
株主資本合計	13,942,831	13,701,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	618,450	560,522
為替換算調整勘定	1,941,379	3,001,276
その他の包括利益累計額合計	2,559,830	3,561,799
非支配株主持分	6,220,313	6,194,188
純資産合計	22,722,975	23,457,586
負債純資産合計	36,842,203	36,866,231

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	6,907,757	7,068,025
売上原価	5,642,224	6,259,761
売上総利益	1,265,532	808,263
販売費及び一般管理費	825,356	841,615
営業利益又は営業損失(△)	440,176	△33,352
営業外収益		
受取利息	10,878	11,305
受取配当金	36,814	41,151
受取補償金	35,372	—
その他	14,938	8,938
営業外収益合計	98,005	61,394
営業外費用		
支払利息	15,382	18,765
為替差損	3,456	32,151
その他	917	855
営業外費用合計	19,756	51,771
経常利益又は経常損失(△)	518,424	△23,729
特別利益		
固定資産売却益	44	10,240
特別利益合計	44	10,240
特別損失		
固定資産売却損	—	3
固定資産除却損	336	10,460
減損損失	2,661	—
ゴルフ会員権売却損	1,018	—
特別損失合計	4,016	10,464
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	514,452	△23,953
法人税等	142,628	149,445
四半期純利益又は四半期純損失(△)	371,824	△173,398
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,701	38,552
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	365,123	△211,950

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	371,824	△173,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,002	△59,056
為替換算調整勘定	△64,419	1,542,433
退職給付に係る調整額	△19,911	—
その他の包括利益合計	△39,328	1,483,377
四半期包括利益	332,496	1,309,978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	402,714	781,270
非支配株主に係る四半期包括利益	△70,217	528,708

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度の連結財務諸表の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大影響の仮定について重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

四半期連結会計期間に係る法人税等については、当第1四半期連結会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	部品製造 事業	ソリューション 事業	モビリティ 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	5,762,996	2,494	1,142,267	6,907,757	—	6,907,757
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	138,153	759	138,912	△138,912	—
計	5,762,996	140,647	1,143,026	7,046,670	△138,912	6,907,757
セグメント利益又は 損失(△)	401,768	2,365	39,044	443,179	△3,002	440,176

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	443,179
セグメント間取引消去	4,499
有形固定資産の未実現利益の調整額	△7,502
四半期連結損益計算書の営業利益	440,176

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	部品製造 事業	ソリューション 事業	モビリティ 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	5,638,058	160,065	1,269,901	7,068,025	—	7,068,025
セグメント間の内部 売上高又は振替高	634	17,760	770	19,164	△19,164	—
計	5,638,693	177,825	1,270,671	7,087,190	△19,164	7,068,025
セグメント利益又は 損失(△)	△6,513	△65,850	7,236	△65,127	31,774	△33,352

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△65,127
セグメント間取引消去	10,276
有形固定資産の未実現利益の調整額	21,498
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△33,352

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「モビリティ事業」セグメントにおいて、2022年4月1日付けで高岡ホンダ自販株式会社を吸収合併いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結会計期間においては129,459千円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当第1四半期連結会計期間より、これまでの機能別の本部制から事業部制へと組織体制を変更したことに伴い、従来「日本」「米国」「タイ」及び「ベトナム」としていた報告セグメントを、「部品製造事業」「ソリューション事業」及び「モビリティ事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。